

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：ソース別の「血小板回復/未回復生存」と、その後の生存への影響の解析

1. 研究の対象

2010 年 1 月～2022 年 12 月に日本で同種造血幹細胞移植を受けられた 18 歳以上の方

2. 研究期間

研究実施許可日 (変更申請後は初回承認日記載) ～2026 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 10 月 1 日

提供開始(予定)日：2024 年 10 月 1 日

4. 研究目的

同種造血幹細胞移植後の血小板の回復と移植成績との関連を明らかにすることです。

5. 研究方法

造血幹細胞移植データセンターからデータベースの提供を受け、血小板の回復と移植成績 (移植後の生存、再発など) との関連を、統計ソフトを用いて解析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

造血幹細胞移植を受けられた方の全生存、非再発死亡、再発、急性・慢性移植片対宿主病、好中球回復、血小板回復、年齢、疾患、疾患リスク、移植年、性別、合併症スコア、臍帯血総細胞数、移植片対宿主病予防法をデータベースから収集します。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反 (企業等との利害関係) について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は教育研究経費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受け、たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院血液内科 担当 栗田 尚樹

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：電話 029-853-3127（平日 9～17 時）

研究責任者：筑波大学医学医療系血液内科 栗田 尚樹